



285号

発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / (株)アートネクスト



令和8年8月8日(土)当センターの地域医療研修センターにてICLS研修を開催しました。ICLSとは、「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした研修です。医師と看護師に加え、下関市消防局から救命救急士3名をインストラクターとして迎え、多職種が連携する実践的な体制で臨みました。



※ICLS研修
Immediate
Cardiac
Life
Support
日本救急医学会が
認定する
医療従事者向けの
二次救命処置
トレーニングコース

受講生として当センターの研修医・看護師計10名が参加し、突然の心停止後への対応を再確認しました。研修中は、受講生



インストラクター
特定行為研修修了看護師
もり ますみ
森 万純

ICLS研修実施

ICLSコースを通して、心停止患者に対する初期対応について実践的に学ぶことができました。特に、胸骨圧迫やAEDの使用だけでなく、役割分担や声かけ、情報共有を円滑に行うことの重要性を実感しました。今回学んだ知識や技術を、今後の救急診療の現場で活かしていきたいと思っています。

研修医
なかさ 亮乃
りょうの

今回のICLSコースを受講し、講師の先生方に楽しく、わかりやすく講義を行っていただき、その後コース受講生の皆様と実践形式で緊張感をもってシミュレーションを行うことができました。今後実際に院内外でCPA症例と遭遇した際も、本コースで学んだ経験を活かし、少しでも患者さんの生命を救うことができるよう、努力していきたいと思っています。



研修医
はら ゆういちろう
祐一郎

ICLSを受講し、急変時には迅速な対応、判断とチームでの連携が重要であると学びました。手術室看護師として2年目となり、待機業務も始まり、緊急手術に対応する場面も増えたため、緊急時に対応できる知識・技術を身につける必要性を感じました。今後は今回学んだことを活かし、急変時にも対応できる看護師を目指していきたいと思っています。



手術室看護師
しらはま りょうのすけ
白濱 龍之介

ICLS研修を受講して

外来診療担当医一覧表

2026年9月1日現在

診療科名	時間帯	月	火	水	木	金	特殊外来(要予約)
消化器内科	午前	(新来) (再来) 戒能聖治 千原大典	坂口栄樹 戒能聖治	小川 亮 戒能聖治	千原大典 坂口栄樹	山崎綾乃 小川 亮	人工ペースメーカー外来 不妊症外来
肝臓内科	午前	(新来) (再来) 八尋星良 原田耕志※	坂口栄樹 早野智子	坂口栄樹 早野智子	坂口栄樹 竹中 仁	坂口栄樹 竹中 仁	難聴・補聴器外来 頭痛外来
循環器内科	午前	(新来) (再来) 八尋星良 原田耕志※	大谷 望 大谷 望	大谷 望 大谷 望	八尋星良 早野智子	八尋星良 早野智子	スポーツ外来 膝関節外来
糖尿病・血液内科	午前	鶴 政俊	周山拓也※ 鶴 政俊	松井久未子 伊藤 涉	鶴 政俊	松井久未子 伊藤 涉	健康診断(予約制) 手の外科 足の外科 骨軟部腫瘍 パーキンソン病 セカンドオピニオン外来
脳神経内科 (午後外来は予約制)	午前	(予約新患) (再来) 廣重美和※ 城野高史※	富田周作 藤澤美和子	田中信一郎 藤澤美和子	尾本雅俊※	田中信一郎 富田周作	
	午後	(再来)		富田周作	田中信一郎 藤澤美和子		
呼吸器内科	午前	額原 隆※				額原 隆※	
	午後		森本俊規※		神田英樹※	鳥井 亮※	
小児科	午前	佐々木聡子	牧 隆司	佐々木聡子	牧 隆司	牧 隆司	
	午後	佐々木聡子	牧 隆司	佐々木聡子	牧 隆司	牧 隆司	
精神科(予約制)	午前	若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介	
心理カウンセリング(予約制)		黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	
女性総合診療(予約制)	午後	早野智子					
生活習慣病センター	午前	大谷 望	松本裕美	松本裕美	松本裕美	藤田文彦	
外科	午前	(新来) (再来) 吉野茂文 坂本和彦 小畑裕一	山本常則 梅野紘希	坂本和彦 吉田 晋	吉野茂文 山本常則	吉田 晋 林 弘人 梅野紘希	
乳腺外科	午前	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	
心臓血管外科	午前			村上雅憲		村上雅憲	
足の疾患センター(予約制)	午後			村上雅憲			
整形外科	午前	伊原公一郎 篠原道雄 大角隆次郎	峯 孝友 坪根 徹 山崎 和大	栗山龍太郎 篠原道雄	伊原公一郎 坪根 徹 大角隆次郎	峯 孝友 栗山龍太郎 山崎 和大	
リウマチ科	午前		峯 孝友			峯 孝友	
泌尿器科	午前	(新来) (再来) 鄭 泰秀 志茂麗子 (10時から)	志茂麗子 鄭 泰秀 (10時から)	鄭 泰秀 志茂麗子 (10時から)	鄭 泰秀 志茂麗子 (10時から)	志茂麗子 鄭 泰秀 (10時から)	
(受付時間11時まで)							
脳神経外科	午前	副島慶輝	山下勝弘		山下勝弘 岡崎光希	副島慶輝	
眼科(予約制)	午前	砂田潤希※ (午後再来のみ)	播磨 希	播磨 希 (再来のみ)	播磨 希	播磨 希	
耳鼻いんこう科	午前	菅原一真※ 第1,3,5月曜 (10:30~12:00)					
産婦人科	午前	林 公一	林 公一	齋藤 剛※	林 公一	林 公一	
皮膚科(予約制)	午前	下村尚子※				下村尚子※	
形成外科	午前		高須啓之※				
歯科口腔外科(予約制)	午前	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	
放射線治療科		河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	
麻酔科		藤田文彦 内本亮吾※	藤田文彦 北 仁志	藤田文彦 飯尾知明	藤田文彦 福井健彦	藤田文彦 白源浩子	
救命救急センターER24	24時間	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※…外部医師

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号

国立病院機構 関門医療センター

診療受付時間：午前8:30~11:30

午後(各診療科外来にお問い合わせください)

※休診日：土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

★代表

★地域医療連携室(医療関係者専用)

★透析センター

https://kanmon.hosp.go.jp/

TEL(083)241-1199

FAX(083)241-1301

TEL(083)241-1191(2561)

FAX(083)241-1302

FAX(083)241-1308



- CT装置2台
- 年間CT検査数 約13600件/年
- 稼働日 1日平均 約50件/日
- 造影CT検査割合 約30%
- 冠動脈検査 57件/年
- 3D作成件数 1861件/年(2025年度)
- CT室 放射線技師配置数 2名
- CT関連認定資格
CT認定技師2名 肺がんCT
- 検診認定技師1名

執筆…放射線技師 赤松 諒一

CT検査運用を行っています。また、副作用等が発生した場合もCT室はERに隣接しており、救急カートを常備、放射線科医師もすぐに駆け付け、体制を準備しております。患者さんには、安心して当センターの造影CT検査を受けていただけると幸いです。

可成りこのような不利益を除外し、安全な検査を行うための事前準備、検査後の対応についてお話をさせていただきます。

造影CT検査を行うことで、全身の腫瘍性病変や血管性病変について精度の高い診断ができます。一部の疾患では造影剤を使用しないと正しい診断ができません。このように、造影CT検査を行うことで患者さんに利益をもたらすことができると同時に、造影CT検査には、血管外漏出、造影剤の副作用等の不利益が存在します。

この度、安全な造影CT検査を行う準備について、当センターの運用方法をお話しさせていただきます。

安全な造影検査を行う準備について

関門フォーラム

後期特定行為研修を受講します



特定行為研修修了看護師
ふくだ まさや
福田 真也

私はこれまでに特定行為研修において3区分11行為を修了し、日々の臨床で学んだ知識と技術を生かしながら、患者さんへ安全で質の高い医療・看護の提供に努めてきました。実践を重ねる中で、より迅速かつ適切な対応を行うためには、さらなる知識と技術の習得が必要であると感じ、今回新たに1区分（動脈血液ガス分析関連）2行為（直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保）の取得を志望しました。



研修では、単に手技を得るだけでなく、病態を的確にアセスメントし、根拠に基づいた判断力や実践力をさらに高めたいと考えています。また、医師をはじめとする多職種との連携を一層強化し、チーム医療において専門性を発揮できる看護師を目指したいと思います。研修で得た学びを自身の実践だけにとどめず、職場内で共有し、後輩指導や看護の質向上にも貢献していきたいと考えています。

向上心と責任感を持ち、一つ一つの学びを確実に身に付け、今後の地域医療と患者さんへのより良い支援につなげていきます。

山口中村学園高等学校看護科3年生が施設見学実習を行いました

令和8年8月19日、山口中村学園高等学校看護科3年生25名と引率教員2名が、看護臨床実習の一環として当センターを訪れ、施設見学実習を行いました。



副看護部長
さねもり なおみ
實森 直美

当日は、看護部長より病院や看護部理念、病院の概要について説明を行った後、救急看護認定看護師とがん化学療法看護認定看護師が、それぞれの専門分野における看護の役割や認定看護師としてのやりがいについて講義を行いました。生徒の皆さんは熱心に耳を傾け、専門資格を持つ看護師の役割やキャリア形成について理解を深めていました。

院内見学では、7階の病棟、救急外来、化学療法室、高圧酸素治療室、リハビリテーション室、健康応援図書館などを巡り、高度急性期医療を支えるさまざまな設備や職種の役割について学びました。特に7階から望む関門海峡の景色には「すごい」「きれいだ」と歓声が上がりました。また、高圧酸素治療室では特殊な治療設備の説明に興味津々の様子で、「こんな治療があるんですね」と驚きの声も聞かれました。救急外来では、初療室での迅速な対応が患者さんの生命予後に大きく影響することを学び、救急医療の最前線で活躍する看護師の重要な役割を実感している様子が見られました。



今後とも学生の見学や実習を積極的に受け入れ、地域医療の未来を担う人材育成に貢献していきたいと思っています。

防火・防災訓練を実施

8月某日、防火・防災訓練を実施しました。



庶務班長
やまだ こうじ
山田 耕司

今回は講義形式で、まずは新採用者の職員に対して、当センターに「自衛消防組織」なるものが存在していることを認識してもらおう、という狙いです。

「自衛消防組織」には、地震や火災が発生した際には、自分達の力で消火活動等を実施し、被害を最小限にとどめましょう、という役割があります。

そして、「本部隊」と「地区隊」とに分かれており、職員の大半はどちらかの隊に所属し、5つの班に分かれ、それぞれの任務役割があるのだということを伝えました。

職員1人1人が、自分がどの隊に所属しているのかを知り、どのような役割があるのか、どのように行動しなければならないのかを理解することが大事です。

今後は、万が一の災害発生時には速やかな対応が出来るように、実働訓練を繰り返し実施し、病院全体の安全を守るように活動していきます。



出前講座 長府中学校教員を対象に心肺蘇生法（BLS）講習会を実施しました



副看護師長
やまぐち ともひろ
山口 智弘

下関地域の「生涯学習まちづくり」出前講座の一環として、心肺蘇生法（BLS）の講習会を開催しました。当日は、心停止が疑われる場面での対応について、一次救命処置（BLS）の基本である安全確認、反応呼吸の確認、119番通報とAEDの手配、質の高い胸骨圧迫、AEDの使用方法を、実技を交えながら学んでいただきました。

学校では、生徒や教職員の急変など、緊急対応が求められる場面に遭遇する可能性があります。いざという時に慌てず行動できるよう、参加された先生方は真剣な表情で取り組み、胸骨圧迫やAED操作を繰り返し練習されていました。



一人ひとりが適切な救命処置を実践できることは、大切な命を守ることに繋がります。今後も地域の皆さまと連携しながら、救命知識の普及と地域医療への貢献に努めてまいります。

Q 出身地は？

山陽小野田市出身です。中学・高校は宇部に通い、大学は鳥取大学へ進学しました。祖父の家が小月にあり、昔から下関にもよく遊びに来ていました。

Q 今、行きたいところは？

北海道のサロマ湖100kmウルトラマソンを走ってみたいです。あとは四万十川ウルトラマソンにも、もう一度チャレンジしたいと思っています。



Q おすすめの場所は？

場所というよりお店ですが、下関ではおかもと鮮魚店で飲むのが好きです。また、シーモールのかめやのたこ焼きと、桃太郎の天ぷらうどんも大好きです。

Q 今、夢中なものは？

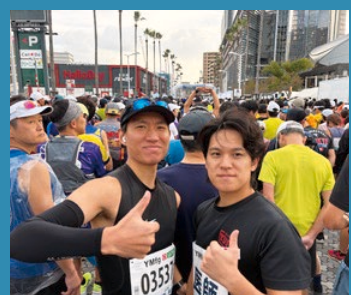
走ることと飲むこと、そして学会に参加して各地の美味しいものを食べることです。

Q 関門医療センターのことが好き

海が近く、ランニングしていて気持ちが良いところです。

Q 医者になつていなかったら何になりましたか？

小学生の頃に木村拓哉主演の「HERO」を見て、検事になりたいと思いました。ただ、司法試験の合格率の低さを知り、周囲からの勧めもあって医師の道を選びました。



下関海響マラソン2025 参加した後輩とともに

診療科：外科
うめの ひろき
梅野 紘希